

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1027	生涯学習推進啓発事業	生涯学習推進啓発事業	01	01	一般会計
33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	だれもが生きがいを有する機会をつくる	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			01	01	社会教育総務費
		教育委員会 伊賀分室	102	102	生涯学習推進事業
		藤岡雅之	連絡先	45-9116	生涯学習推進啓発事業
			細々目	01	生涯学習推進啓発事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	地域のPTA、教職員、保育士、保育園児保護者等子供から大人までの市民	家庭教育講演会を実施することにより、学習の機会の提供と、家庭教育の充実及び推進が図れる。
本年度事業内容	家庭教育講演会の実施。 小中学校の家庭教育学級実行委員会(5校)及び管内保育園連絡協議会(5園)への補助。 業(親子の集い・体験学習・人権学習時の謝金及び原材料費)	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等	伊賀市教育委員会関係補助金交付要綱	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	382	452	452
委託料			
報償費	130	100	100
補助金	252	227	227
その他		125	125
合計(A+B)	3,982	4,052	4,052
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,982	4,052	4,052
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
家庭教育講演会受講者数	人	92	100	120			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
17年度実績受講者数×(定率)1.10	児童数が減少する中、参加対象者17年度実績を100とし、定率を指標	%	100 目標 (100)	110	120
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

講演会内容により参加者数も変化するが、参加を得やすい講演内容の検討と、この種の講演会は支所、分室レベルで開催するのではなく、市全体として本庁企画で、各地域巡回開催の形態を、今後検討する必要がある。
--

評価	必要性	4	各地域で引き続き必要な事業であるが、改善点として前段記したとおり事業実施形態の検討の必要があることと、年1回程度の開催では不足な面もある。今後は、保育所、小学校保護者と連携し、参加率の高い取り組みを展開したい。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	3		
	効率性	2		